

わが陸上人生
出会った
忘れ難き恩人や
貴重な人々

著 鴻池清司



わが陸上人生 出会った忘れ難き恩人や貴重な人々

傎寿が過ぎ心身ともに元気な現役選手で少しでも社会貢献出来るのは、出会った多数の恩人や人々の支えご協力して頂いたお陰と感謝し回顧しています。培った知恵を活かし出来る限り微力ながら精進できるよう祈念しています。御礼を兼ね一筆書き残しました。何かの参考になれば幸甚です。主な112人(順不同)を列記致します。氏名のみ掲載者多数ご寛容下さい。

目次

第一章 成長期

① 幼少年期(1937~1946年)	4
② 青少年期「成長期→苦渋時代」(1947~1956年)	4
③ 成長期(1957~1966年)	4
④ 充実期(1967~1976年)	6

第二章 中熟年期（マスターズ期）

⑤ 中年期、マスターズ育成期(1977~1986年)	7
⑥ 熟年期、マスターズ充実期(1987~1996年)	9

第三章 高年期（マスターズ振興期）

⑦ 定年退職期、マスターズ円熟期(1997~2006年)	12
⑧ 高齢期、マスターズ振興期(2007~2016年)	12
⑨ 傎寿期、マスターズ充電期(2017~)	18
⑩ 各組織で出会った多くの方々一覧	18
⑪ 日本陸上競技連盟 ⑫ 日本代表五輪選手 ⑬ 日本マスターズ陸上競技連合 ⑭ 近畿マスターズ陸上競技連盟	
⑮ 和歌山マスターズ陸上競技連盟 ⑯ 和歌山陸上競技協会 ⑰ 思い出の知事首長 ⑱ 日本マスターズ事務局	
⑲ 競技団体関係 ⑳ 報道関係他諸団体 ㉑ 職場関係 ㉒ 主な競技仲間 ㉓ 主な教え子競技中心	

付録・編集後記

㉔ 全日本マスターズ陸上競技選手権大会開催地一覧	20
㉕ 都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会歴代優勝チーム一覧	21
㉖ 世界マスターズ陸上競技選手権大会開催地一覧	22
㉗ アジアマスターズ陸上競技選手権大会開催地一覧	22
㉘ マスターズ日本一周健康リレー一覧	23
㉙ 日本列島一周マラソン8000キロ走破一覧	24
㉚ 鴻池清司 著書・受賞歴一覧	26
㉛ 編集後記	26
㉜ 各期に出会った人々一覧	27

1

幼少年期

1937～1946年

小学4年時映画『馬喰一代』、三船敏郎主演を観て苦労と努力の尊さを知った。五輪選手で医師バニスター(英)が人気種目1マイル走で世界初4分を切る世界新を樹立したのに憧れ陸上競技を決意、五輪選手と医師を目指した。「人のやれない事をやれ」父の言葉を秘めながら。

2

青少年期「成長期→苦渋時代」

1947～1956年

撫養小→鳴門市第一中→金時足袋（鳴門高定）

●小原昇次（撫養小教員）

小学5年時に撫養小に赴任し全校一斉マラソンが低1～2年、中3～4年、高5～6年に分かれて実施された。高学年の距離は約3.5キロで1キロ以上経験ない距離。ゴールのみ目指してゆっくり出発したが全体2位。6年時は完勝し一躍校内のスターダムとなり五輪への夢膨らむ。小原先生は後年良きマスターズの理解者。自身も跳躍選手で全日本マスターズ陸上選手権に出場された。「たらん」の異名を持つ長身で優しい人物。

●吉成静夫（鳴門第一中教員→鳴門市教育長）

小学時代家庭学習皆無だったが県内きっての進学校に入学。2～3年時から進学組Aクラスに抜擢され少しは勉学に励んだ。(就職組3、進学組クラス3)3年時に「男なら何かを残す人に成れ」と先生に励まされた。家庭事情で進学組約160人中高校進学しなかったのは私一人で、県内どの高校も入学可能なのに進学せず地元中小企業に就職、悶々と日々を過ごした。

●坂田健三（金時足袋専務）

高校進学を断念して従業員100人余の地元足袋会社第二の金時足袋株式会社に就職。日々汗水流す12時間労働に明け暮れ悲嘆のどん底が約3カ月続いた。陰日向なく働く私は坂田専務の自宅に招待され、自身の体験談や世情を教示頂いた。給与は低く4年弱の会社体験だったが人間関係も良く、慰安会等で従業員全員を大阪、白浜温泉旅行に無料招待し忘年会等毎年全員無料招待する素晴らしい会社で人間関係は良好で感謝。

●川井重臣（鳴門高定主事）

多忙の会社で一年を過ごす中、働きながら夜間に学べる高校の存在を知り一年遅れで入学。18～21時までの3時間勉学に励んだ。7～17時半の労働と夕食抜きの勉学である。運動好きな私は学習終了後毎夜約30分薄

暗い体育館でバスケットに興じ、精皆勤賞で勉学に励んだ。中学時代から大企業に就職陸上で五輪を目指す希望が実現出来る時がきた。日清紡績である。1966年13倍余の難関を突破合格したが、採用条件に難関があった。①保証人を確保する。県会議員か地元の名士が条件で苦渋の末鳴門市長に依頼快諾された。②中学卒業生採用で高卒はダメ。3年間通った高校生活を無駄にするか、日清紡就職か苦悶の末に川井主事に相談「君は本校の優等生である、職員会に諮り特例を認め喜んで退学届を書くが、会社の許可が出たら3年時後半から復学を許可する」更に「君ならやれる自信を持ち前に進め」と特例して頂いた大恩人で回顧する毎感涙咽ぶ。

3

成長期

1957～1966年

●近藤尚之（鳴門市長）

日清紡績株式会社入社時に保証人を快諾された市長。実子二男の近藤君は鳴門第一中同級生。「頑張れよ」と励ましの言葉。島倉千代子の「この世の花」が得意な市長成人式でご披露。

●高井幸男（日清紡績美合工場陸上部主将）

日々練習は女子部員中心で男子は高井主将（イケメンの短距離が得意で面倒見が良い）私、中卒4歳年下中村君の3人、徳島要員専門寮と500m離れた男子寮に良く呼ばれ、陸上他社会全般に亘りご教示頂いた。全社対抗陸上や愛知県各陸上大会。青年陸上大会400mで銅メダル。予選、準決、決勝とも56秒をマーク。跳躍から華の400、800mに転向した。

●松尾稀勝（日清紡岡崎工場勤労課長→ソニー電子会長）

徳島工場要員約70人をバス2台に分乗させ名古屋、一宮に観光旅行に招待され満喫した。1957年2月から私達10人の特別研修要員が9ヶ月を終え帰徳時に見送りに来られ「君は一日とて休まず練習に励んだ徳島で陸上部を作り頑張れ君なら出来る」と激励された。1979年元旦日本列島一周マラソン走行時にソニー電子藤沢工場宿舎を無料提供された恩人感謝。

●大屋行雄（鳴門郵便局員、鳴門AC幹部、歴史文筆家）

郷土鳴門ACの大先輩で歴史文筆家しかもカメラマン。1958年徳島陸上界に彗星の如く登場し活躍する私の大支援者で死去直前まで支援ご協力頂いた感謝。つま先走法の長距離選手。

●鈴木敏男（日清紡績徳島資材課主任）

※上司は油田晴夫課長、臼井一生

1957年11月～1961年6月まで4年弱勤務した勤労

学徒私の良き理解者。いろいろと便宜を図り積極的に支援頂いた。良き職場に恵まれ誠に去りがたい会社であった。感謝。

●湯浅藤吉（城東高校教員、徳島陸協理事長他）

1961年徳島実業団陸上結成に尽力され、第一回徳島実業団陸上競技会や徳島マスターズ陸上結成にご尽力いただいた方、大変面倒見の良い方でマスターズ陸上の普及振興にご尽力され当連合理事にも就任。私の実父告別式にまで鳴門に足を運んで頂き感謝の念で一杯。

●木水肇（住友金属和歌山製鉄所整員課長）

1961年3月、1年遅れで入学日清紡の会社時含め7年間掛け大変苦労して高校卒業。飛躍するべく1961年2月住金和歌山採用試験に合格した私に再三入所を勧めた課長である。故障の連続で記録停滞を打開する為、京阪神に転職を望み合格したが日清紡が去り難く断念。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」課長の熱意に惹かれ入所。期待に応えるべく寸時を惜しみ精励するも過労で疲労困憊、記録が停滞残念。適度な休養が必要だったか遂に住金陸上団断念大学進学を目指した。

●藤井毅彦（住友金属和歌山製鉄所試験課課長）

住金和歌山製鉄所入所以来の2年間住金陸上団大阪登録し、日本陸上選手権1600R4位入賞や種々の大会に出場したが記録や成績面で今一步の活躍しか出来ず、陸上団を辞退和歌山陸上部に転換主将に就任、和経短大に進学した。競技歴を活かし和歌山陸上の活性化と所内駅伝の充実に奔走。ところが従業員健康推進の為駅伝を奨励し毎年2月実施の大会3カ月前から各部所選手は16～18時迄練習に励む。勿論祝祭日は返上で各部所共優勝を目指す。駅伝好きの課長は人事の採用や選手の育成、区間配置まで毎日私と協議推進してくれた貴重な人だ。当時所内は勿論、陸協にも区間記録はなく。区間賞の導入やその方法まで講習会を開き説明した。微力ながら地域陸上の普及振興にも尽力している。

●大塚健純（住金和歌山製鉄所試験課防食研究室主任）

1961年6月1人で入所。防食研究室大塚主任が好人物で思い出多き良き職場。日清紡資材課に匹敵する好環境に恵まれた。自由奔放な職場で研究に没頭できた。職場ぐるみで行った紀南旅行や山陰旅行など思い出が多いいっぱい。玉造温泉の某旅館夕食時にこんな面白い客は初めてと笑いくだける一幕があった。ある時は和歌山市内繁華街に職場全員で繰り出した忘年会や二次会で青春を謳歌し誠に楽しい最高の職場だった。感謝。

●南佐三（和歌山大教授）

1963年和経短大入学と同時に陸上部入部、3年間

各大学対抗戦や関西インカレ、西日本インカレ、西日本国立大対抗戦等で和歌山大の主力選手で活躍。1965年岐阜国体に和歌山大選手として参加した。「君は教員になって頑張れ」と推奨された方で妻との結婚を推奨された大恩人である。

●鶴田宏次（和歌山県教委→近畿大教授）

徳島池田高校野球部（やまびこ打線）指導者、死去されるまで約50年のお付き合い。私生活からマスターズ全般まで家族ぐるみのお付き合いで、宮崎世界大会誘致で宮崎県知事、南部忠平先生と共に北欧各国やアジア会議に参加ご活躍された。当連合発展の為努力された大恩人である。

●佐藤義一（住金和歌山製鉄所）と父母

住金時代、和経短大に学ぶ同僚で作る和友会を結成し活躍。高梨君と私の3人で登った槍ヶ岳他の思い出が懐かしい。同郷のよしみか氣脈が通じる生涯の友である。家族ぐるみのお付き合いで下宿の世話や、常時夕食を家族同様に頂き約半年間楽しい団らん過ごした。53年間連れ添っている妻は私にとって大事な人とアドバイス頂いたご恩は忘れ難く深謝。

社会人から教職へ。金時足袋、日清紡績、住友金属の3企業経験のユニーク教師。

●前嶋安夫（和歌山市立西和中学校長）

教員初の赴任先は和歌山県随一の進学校、担任紹介の全校集会に新卒有望な国体選手と紹介期待された。教員になり五輪選手育成と生徒の才能發揮の為教員を志望した。3企業の経験を生かし他先生に無いユニークな教師として全力投球を誓った。持ち時間、敬遠される役職など進んで引き受け早朝から部活動の最終迄、宿直など他教師から依頼され良く担当した1968年結婚。結婚時妻の父に「1,000人に一人しかいない教員」と言われた由、私は期待に答えて10,000人の一人を目指そうと心に誓った。先輩教員は立派な方々が多く後の教員生活に役だった。

●野口幸一郎（和歌山市立西和中教員→後の和歌山市立中学校長他）

仏の野口と言われ仏様のような穩便で優しい先生。理論家で良き理解者エピソード紹介。時間を大切にする私は通勤途上単車がエンスト急遽タクシーで出勤。知らせた先生が5キロ離れた私の単車を手押して遅れて出勤された。まさかで大変申し訳なく平身低頭である。西和中の8年間良き教師、良き生徒に巡り会い大変幸せな思い出一杯の職場だった。感謝。

●井本誓順（和歌山陸協会長、養泉寺住職）

和歌山県中学陸上大会や各種和歌山陸上大会で活躍

する私に目を掛けられる良き理解者。私宅に招かれ指導を受けた。北野、岩橋、辻井各理事長共々に期待されご支援頂き感謝。

●大橋正雄（和歌山県知事）

埼玉国体で四至本（星林高）と期待され私を応援のため国体会場に。1971年黒潮国体で和歌山総合優勝に導いた立役者。私の実子が通うむつみ保育園七夕祭り相撲大会でお会いする位で特にご面識はないがスポーツ付きの器の大きな知事だった。

●宇治田省三（和歌山市長）

1966年西和中学赴任後和歌山市陸協設立。小林、土木、得津氏と共に尽力。普及広報担当になり翌年から市民の健康と陸上の普及振興の為、和歌山城約2キロを走る「つれもて歩こう走ろう会」を創設。支援の為市長に直訴した。「君が担当指導するなら承認する」と快諾。毎週朝7～7時半火、金の2回実施した。自宅から和歌山城まで約10キロ勤務先約13キロを一旦帰宅。実子2人を連れ保育園に行く超多忙の日々を2年間続けた。信頼度が増し参加者が増加している。「君がやること皆成功するな」晩年一言頂いた深謝。

4

充実期 1967～1976年

●佐々木吉蔵（元五輪選手、日本体育大教授で名スター）

1970年インターハイ1971年黒潮国体主任スターでお会いし私が副主任を努めご指導頂いた。後の野崎忠信氏とご一緒に出来たことは思い出多い。上京し国立競技場に行く度昼食をご馳走頂きながら生涯お付き合い頂きマスターズの良き理解者だった感謝。先生が直筆された私のスター図は宝物で号砲した100H林田智美の日本新は想い出。



●内藤行雄（和歌山日赤病院長、和歌山走ろう会長）

和歌山走ろう会顧問相談役に就任した私は各種走ろう会行事に参加交流を深めた。日本列島一周マラソン1982年3月、先生生誕舞鶴で4人が無料宿泊歓迎会を開催され伴走して頂き、生涯スポーツの良き理解者でマスターズ発展の為積極的にご講演や種々の励ましを頂いた。感謝。

●豊田まみ（西和中生徒会長で円盤投げ日本一選手）

3年時生徒会長に抜擢される人格者、めーちゃんの異名で親しまれ面倒見良く、笑顔を絶やさず、当公認種目でなかった円盤投げ日本一の記録を持つ。遅くまでコツコツ練習に励んだ現在西和OB会幹部を務める。

あの日 あの時

井出まみ（旧姓農田）

希望に胸膨らませて、西和中学校に入学した同日、新任教師として、鴻池先生が同校に奉職されたのでした。躍動感溢れる精悍な姿で常に先頭を走っておられた先生に引きずり込まれる様に私は陸上部へ入部しました。雨には校舎廊下でのトレーニング、時には、東照宮の階段や坂道でと、早朝、昼休憩、放課後の三部練習に、ひたすら部員と共に励んだものでした。

熱意溢れるご指導に、2年目には市、県の新記録を出す部員が続出し、私は3年生の時、円盤投げにおいて、幸運にも日本歴代5位記録で県スポーツ奨励賞を受賞し、生涯忘れられない思いでとなりました。

また、生涯スポーツ精神による文武両道のご指導の下、部員が自己ベストを尽くし、進学、就職活動しておられます。全ての教え子が練習の厳しさ、喜びを忘れる事無く、生き甲斐のある人生を送る事と信じております。

感服のほかない業績

鳴門市教育長

吉成 静夫

鴻池選手は、鳴門第一中学校時代、健闘に大変恵まれ、誠実で、友達の信望も厚く、先生方から非常に信頼をされていました。ことわざに「負う子に教えられ」ということばがありますが、あなたから、いろいろなことを教えられました。記念号発刊にあたり、その一端を書き、お喜びのことばに替えさせてもらいます。

常に遠大な目標をもち、その目標達成のために、あせらず休まず、しかも長い年月にわたって努力を続けたことです。

中学校の社会の教師という難関をみごと突破したこと。率先垂範、生徒とともに練習に励み、幾多の名選手を養成したこと。自分自身も積極的に記録に挑戦し、このたび日本一周の夢を実現したことなど、その業績は感服のほかありません。

どうか今後は、健康には十分留意し、今日まであなたを育てていただきたい、すばらしい先生方、先輩、同僚、家族の方々に感謝の心を忘れず頑張ってください。徳島県でも、あなたの方のまかれたマスターズの活躍が年とともに活発になってきました。お会いできる日を楽しみにしています。

●本田陽（西和中→慶應大→マイソウ大）

1974年第1回全日中陸上於国立競技場の3種B競技覇者で日本新記録、文部大臣賞受賞者。慶應大在学中マイソウ大(独)に入学。ウイッシュマン博士に師事。語学堪能で欧州始め世界に知人が多い、マスターズ実践者ウイッシュマン博士と先生に師事した鴨下、横溝選手等多くの陸連関係者に顔が広い。

5

中年期、マスターズ育成期

1977～1986年

●一木謙 (門鉄→日本マスターズ副会長)

当連合創立立役者の一人、1977年第2回世界マスターズ選手権1600R8位入賞者の一人。バトンの一木と云われ門鉄時代全国的に活躍した名選手。当連合創立にあたり折橋辰雄氏と共に躊躇する私に「貴方の努力で多くの人が喜ぶ、力の限り支援する」の言葉で決意3人で上京。陸連事務局で織田幹雄先生に依頼し快諾された。連合創立後も積極的に逝去される迄相談支援頂いた気さくな方、得難い恩人である。

●折橋辰雄 (大阪マスターズ初代会長→日本マスターズ副会長)

一木氏と並び当連合創立の立役者1979年第2回西日本マスターズ陸上選手権(和歌山)以来参加選手の要望に答えるべく連合創立に奔走した。資金の調達、種々の相談役を快諾役員の宴席等自費で積極的に推進。勿論創立3者(一木、折橋、私)の交通、宿泊費は自費である。逝去される迄家庭を顧みずマスターズの為頑張って頂いた。知る人ぞ知る。恩人一木、折橋氏に出会い楽しい人生を送れた幸せは忘れない。親父のような人だった深謝。

●力武敏昌 (神戸新聞運動部長、現陸上記者中第一人者)

1966年西和中学陸上部顧問以来の交友で、陸マガ『青春の火は燃ゆ』執筆者。40余年間マスターズ陸上の記事を毎月執筆掲載している。大立役者で陸上界きっての知識人。歴史、人、記録等生き字引で彼の右に出る人はいない。マスターズ陸上の普及振興なくしてはならない大功労者。末永くご健在を祈念するばかりである。

●寺沢徹 (倉敷レーヨン→元五輪マラソン選手)

元マラソン世界最高記録保持者、1964年東京五輪マラソン優勝候補者。1977年紀州路マラソン白浜大会以来の交友でマスターズ陸上の良き理解者マスターズ駅伝大阪大会時や各大会に出会う毎、親交を深める。カラオケは天下一品の腕前。

●織田幹雄 (日本人初の五輪金メダリスト、早稲田大教授、初代当連合会長)

1977年第2回世界マスターズ選手権でお会いする幸運。世界の織田で日本陸上界の神様である。バニスター(英)以来の憧れの人。雲の上の人がとても近寄れない存在であった。異国で励まされその見識と人柄に感動。帰国航空機途上一木、遠北、及川氏等と共にマスターズ組織創立の話が弾み連合創立に至った。1993年10月

第10回世界大会終了後、織田先生の意志を促進するためマスターズピック実現に向け推進している。



●西田修平 (元五輪棒高跳銀メダリスト友情のメダルで有名、2代目当連合会長)

1932年ロス五輪棒高跳銀メダル1936年ベルリン五輪棒高跳銀メダリスト大江選手との死闘が続くも協議して先輩の西田選手が2位、大江選手が3位に。西田選手の提案でメダルを二分し継ぎ合わせた友情のメダルは長く教科書に掲載された。和歌山市出身のご縁もあり殊の外家族以上に指導され、マスターズ界は勿論、陸上界全般に亘り最後まで指導された。恩恵は大でござ逝去後20年毎年1回以上織田、西田両会長の墓参は欠かさない。合掌。

●渡邊源太郎 (住友金属重役→住金加工副社長初代和歌山マスターズ会長で当連合副会長)

小柄ながら400mが得意、100歳ランナーで数々のマスターズ日本記録を樹立。400mを自身の年齢より少ない数字で走るエイジランナー発案者で優れたスプリンター、ハーダル、跳躍、投てき迄こなす万能選手だ。数々の日本記録を樹立しマスターズ陸上をこよなく愛した小さな大選手である。

●峯 譲 (和歌山県庁職員→同審議官)

1978年1月和歌山マスターズ連盟設立の立役者。逝去する寸前迄マスターズ発祥の地和歌山は勿論、連合創立後も近畿、全日本の全般に亘り普及振興に努力され。地元和歌山で開催した幾多のイベントを支え続けた大功労者である。

●後藤良平 (京大出の文筆家)

1979年関西壮年陸上大会で出会い1995年阪神・淡路大震災で受難逝去される約20年間当連合普及振興に全面的に支援された。日伯親善陸上に団長でブラジルまで行かれ親善に大きな成果を残した。種々の著書を

残され、各会議でのメモ書き報告や組織、新種目の提案等積極的に進言して頂いた。当連合にフリーダンスを取り入れ神戸まつりにマスターズ連が参加。阿波踊りにもマスターズ連で参加寸前まで来ていた。夜の酒場で若者に人気があった。誠に惜しい人を亡くした。

●小掛照二（元五輪選手で三段跳び世界新樹立者→日本陸連副会長）

織田、南部、田島氏以来の三段跳び世界新記録樹立者。メルボルン五輪の金メダル候補者。直前に故障する不運。1980年第1回全日本マスターズ陸上選手権（和歌山）M45三段跳に急遽出場し盛り上げて頂いた。その後もマスターズの良き理解者でご指導頂いた。

●大山富子（奈良県立高教員→アジアマスターズ名誉副会長）

1981年第2回全日本マスターズ陸上選手権女子最優秀選手賞、秩父宮章、スポーツグランプリ賞受賞。

和歌山、大阪に多額の浄財を寄付し和歌山、大阪に作詞、作曲の歌まで寄贈するマスターズ陸上の大愛好家である。国内外のマスターズ陸上に積極的に参加し好成績を残している。日伯親善陸上に唯一の女性参加者として活躍し親善に尽力された。

●ヴェルノ・ウィッシュマン（独マインツ大教授・親日家）

大の親日家で優秀な陸上指導者氏に師事する日本陸連指導者は多数。鴨下、横溝、本田他。1981年第2回全日本マスターズ陸上で来日参加。実技講習も指導されて以来のご親交。中学陸上選手権にウィッシュマン賞を提供されている。世界大会参加毎にお会いするマスターズ陸上愛好家でもある。私に「日本のビックボス」と云われ笑顔で恐縮するエピソートも。

●ロバート・ワタナベ（米、整形外科医）

1981年第2回全日本マスターズ選手権以来のお付き合い。1983年第5回世界大会（ペルトリコ）、大会終了直前日本選手団の高齢メンバーが高速道路で大事故に会い瀕死の重症の報を受け、一木副会長と病院へ直行（ペルトリコ大国立病院）言語解らず病室に辿り着くのに困り果てた。織田会長、一木副会長と親族が来る迄の3日間私が徹夜で病室に、現地パナソニック系社員家族の機転で親友ロバートに連絡がつき病室まで駆けつけ無料で適切な処置をされた。月を視ながら日本の遠い地球の裏側で言語解らず何もできない夢さと不安で一杯だった。ロバートの友情と現地パナソニック社員の奥様方に深謝。ロバート氏は在日の度上京する私に数々優待された大恩人である。この事件は人々の友情と何事にも挫けぬ貴重な体験となり現在に活かしている。



●レイコ・ドゥバー夫妻（米陸連副会長、公認会計士）

第4回世界大会1981年ニュージーランド、クライストチャーチタワーで偶然レイコ氏にお会いした。治安の良い街で午後の競技にゆっくり一人で参加したのがきっかけだった。

以後交友を深め、第5回世界大会参加時、途中ロサンゼルスでは、日本選手団全員がロスのニューオータニに招待され豪華食事を頂いた。大事故後羽田から一旦帰宅し直ぐ長崎へ1日職場に復帰、翌長崎の第4回全日本マスターズ陸上の為大阪へ一睡もせず参加。ドゥバー夫妻と再会を喜び合った。彼は日本陸連幹部、選手にも同様親日家で私が国立競技場や日本陸連主催の競技会に招待され、西田副会長のお呼びで貴賓席等でレイコ氏や西田副会長と親しく歓談する私への陸連幹部視線を感じずにはいられなかった恐縮至極。



●佐々木秀幸（早稲田大教授→日本陸連専務理事他）

語学堪能で優れた見識と企画力、判断力を持ち合わせた才能者。マスターズ陸上の良き理解者でマスターズ副会長にも就任。優れた才能と人脈はマスターズピック実現に欠かせない人である。宮崎世界大会前から陸連普及委員として私を指導、宮崎世界大会以降は永年に亘り陸連連絡理事で指導頂いた。一番の思い出は五輪女子走幅跳選考問題。日本新で優勝した池田久美子さんが私の発言で選考され五輪選手に当然乍ら。おめでとう。

陸連役員で全ての理事各位から良くして頂いたが、

佐々木、大串、広島、室伏氏は良く気心も合い飲み歌った仲間で忘れ難い思い出が多い。

●貴志八郎（衆議院議員、青陵高校父兄会会長）

苦学生を代表するような良き国會議員。苦学生で青陵高校に赴任以来の理解者で種々と相談しご支援頂いている。



6

熟年期、マスターズ充実期

1987～1996年

●渡辺雄二（ウツミスポーツ企画から独立、ワタナベ企画、なごみ庵等経営）

1987年第1回全日本マスターズ駅伝大阪万博大会以来。マスターズ駅伝写真集を担当、プロダクションで語学も堪能。アジア・世界大会で通訳の方面でも活躍。第10回記念国際・全日本マスターズ陸上和歌山大会ボランティア通訳約80人の育成にも尽力された。

●吉岡陸太郎（大阪マスターズ三代目会長他）

第1回全日本マスターズ駅伝大阪万博大会、1986年9月より約8ヶ月間、無料提供された梅田の土井勝料理教室事務局で読売テレビ山本氏や私と18時から毎夜3時間半ボランティアで競技運営全般に亘り苦楽を共にした大先輩。大成功後も何かと当連合の運営に協力されご支援頂いた人である。

●君原健二（新日鉄、メキシコ五輪マラソン銀メダリスト）

1964年東京五輪マラソン優勝の最有力候補で8位に終ったがメキシコ銀、ミュンヘン5位入賞の偉大なマラソン選手。首振りながら最後まで諦めない超努力家でマスターズ理解者。私を理解され奥さん共々ご支援頂き講演など気安く快諾され非常に得難い好人物である。

●土井勝（土井勝料理学校校長→当連合副会長他）

1986年第4回アジア大会（ジャカルタ）日本選手団団長。全国青年団陸上100m優勝者。ヘラブナ釣りの名人。アジア大会以降ますますの親交が深まる。1985年伊ローマ1989年米ユージン世界大会にご一緒して活躍された。アジア大会（ジャカルタ）の400m銅メダル獲得には驚き。役員・選手のご活躍に敬服。第1回大阪万博での運営資金全調達や大阪城周辺コースでの読売テレビ生放送、御堂筋コース実現に着々と努力されたご功績は甚大であり「鴻池さん私と一緒に全国行脚しましょう」と言って頂いたのが昨日のよう。有難うございました。合掌。

広瀬豊（月刊陸上競技編集長→関東学連会長）

1984年日本列島8000キロマラソン完走時、「日本列島走る」や「私とマスターズ陸上競技」で望外のご祝辞を頂き感激。ご祝辞頂いたお言葉に恥じないよう生涯スポーツの振興に心新たにして精励。感謝感激。

あの日あの時

月刊陸上競技編集長 広瀬 豊

1つの組織の設立は、アイディアと熱意を兼ねそなえた人物2～3人がちょっと努力すればできることではない。しかし、その組織を全国的規模に拡大し、それを運営するには、ブルトーザーのようなパワフルでエネルギー満々な超人物の人物の存在が絶対に欠かせない必須条件であると思う。私は日本の陸上界で、そんなブルトーザーの人物3人と接触することができた。本来が受け取る者は、そのつど驚嘆せられ、圧倒され、心から尊敬もした。

その1人は故北沢 清さんである。70年前の昭和3年、当時、関東学連の秘書（現在の幹事長）だった北沢さんは、関西学連に強引に働きかけ、ついに日本学生陸上競技連合設立という大事業をやってのけた。学生の身でよくもやったり、「あっぱれ！」と言うはかない。

2人目は、戦後の高体連陸上競技部を設立した故大田博邦先生である。「大田天皇」と異名をとった大阪・天王寺高校の先生で、全国インターハイ、全国高校駅伝等を矢張り創設した。

そして3人目が、マスターズの鴻池清司さんである。前二者と違う点は、鴻池さんが現役選手でありながら組織づくりに邁進されたことである。あれよあれよという間に、マスターズ連合を全国組織に成長させてしまった。まさに驚くべき手腕であり、その情熱と知力、体力には常々感服している。鴻池さんを中心に、日本マスターズ連合が今後ますます充実・発展し、陸上競技を中心から楽しむ中高年者が1人でも多くなることを、陸上ファミリーの一人として祈っている。

●浦井健三（青陵高校校長）

28歳で中学教員となり超多忙の毎日の連続。50歳を機に21年間務めた中学教員にメドを付け過去の経験を生かして定時制高校の教員を目指した。幸いにも和歌山市内中心部の青陵高校に配属された。職場が大変よく良き校長に恵まれた。浦井校長はマスターズ陸上に理解や興味を示し自らも走幅跳に挑戦する勇士。職員父兄懇親会など職員一丸となり楽しまれる校長で再三私が管理職の話をされる（勿論マスターズ一筋私は辞退）。

●熊木利隆（大阪府副出納長→4代目大阪マスターズ会長他）

当連合を支える大阪マスターズ歴代会長。全日本マスターズ駅伝やブリッジロード全国大会1994年の立役者。マスターズ陸上きっての知識人正論家で競技実践者である。投てきから短距離選手をこなす大のマスターズ愛好家で貴重な人である。

●遠藤靖雄（朝日新聞運動部長、元ラグビー名選手、伊能ウォーク実践者）

第10回世界大会（宮崎）最終走者に青木陸連会長を推挙した功労者であり、第4回世界ロード明石大橋

大会推奨した功労者。また平成の伊能ウォークを実現多くの人々を参加させた実力者。最終回川崎→日比谷公園最終ゴールに妻、娘と参加した思い出が多い。

●梅田善彦（和歌山県副知事、三代目和歌山マスターズ会長、4代目当連会長）

1989年第10回国際・全日本マスターズ選手権（和歌山）成功の為会長に就任頂くと行政援助以外に2000万以上の浄財を集めました剛腕に感謝。以後逝去される迄マスターズ陸上普及振興に多額の資金調達にご尽力された。マスターズ陸上発祥の地として永久に忘れ難き存在で大恩人である。

有名な随筆家の「妻女恵以子氏は『輝けマスターズ集う紀州路世界から』」を1989年時に残された。合掌。

●長谷宗明（和歌山マスターズ副会長）

国際・全日本マスターズ大会最終炬火点火走者で翌年から毎日ボランティアで連合事務局に出勤。全県下の広報普及活動に積極的に活躍、会員の多くを入会させ指導普及に尽力された功績は大で「仏の長谷」は有名。小柄ながら走高跳と宮崎世界大会2000SCで銀メダル獲得。長男利明氏は国体走高跳銅メダリスト。和歌山マスターズ普及広報委員長で活躍中。

●竹田賢治（YKK社員、富山マスターズ会長）

当連合普及広報委員長。1996年全日本マスターズ陸上、2006年全日本マスターズ駅伝を家族ぐるみで開催。

●増田明美（元五輪マラソン選手、スポーツジャーナリスト）

5000m→マラソンの女子日本記録を次々と樹立「女瀬古」と言われた。日本女子マラソン長距離界のレベルを一気に引き上げた功労者で長距離マラソン界きっての解説者。マスターズの良き理解者で全日本マスターズ選手権や全日本マスターズ駅伝に出場され、多忙の中進んで講演にも参加される。当連合副会長。

●松形祐堯（林野庁官→宮崎県知事）

1993年10月第10回記念世界大会（宮崎）を大成功させた立役者。陸上競技だけで世界78カ国地域より選手12500人が参加。五輪金メダリストや多数の国内五輪選手、有名人が参加。

満員の開会式に秋篠宮ご夫妻がご臨席されるマスターズ史上最高の大会で世界最大の大会となり、「世界の宮崎」は世界中の語り草だ。尚3年前から誘致活動に入り、アジア、北欧各国には知事先頭に誘致団を結成、南部忠平氏中心のマスターズ役員と活躍し数々のエピソードを残した。

●佐藤耕一（宮崎某病院技師→特別養護老人ホーム技師）

宮崎世界大会開催陰の立役者。少数宮崎マスターズ会員世話役の彼から私に連絡あり、県職員日高氏同行で挨拶に来てから進展。家族一丸となって大会成功に向けて尽力された功績は大で、大会前後再三彼の自宅を訪問家族ぐるみで歓待されたことを忘れない。感謝。

●生田秀正（日野町長→鳥取県議会議員）

役員現役選手でハーフドラー当連合副会長で活躍。全国最少人口県ながら全日本マスターズ選手権2回、全日本マスターズ駅伝5回も開催した。特に1996～1998年の全日本マスターズ駅伝、日野町→日南町往復42.195キロは両町挙げての大会と想い出多き大会だった。2018年夏貴方に案内された倉吉旅館が最後の出会いで残念。視野の広いマスターズ好きの素晴らしい方だった。合掌。

●五島次郎（富士火災和歌山支店長→トライメリット社長）

1989年第10回記念、国際・全日本マスターズ大会開催以来。当連合事務局を無料提供されて以来、マスターズ全般に亘りご支援、ご協力アドバイス頂く富士火災職員で会社トップの人望が厚い。当連合理事時代2010年第31回全日本マスターズ東京大会に大活躍された。

●江藤源哉（九州乳業会長→当連合5代目会長）

筆述に書き尽くせない大恩人、地元大分や九州では知る人ぞ知るの名士である。陸上、サッカー等の他、幾多の会社を再建、活性化に貢献されている。九州地方会長で理事会の度、理事を大分に招待。交通宿泊費は勿論、宴会二次会まで無料招待されたとか。私も幾度か招待され、私に「貴方が会長になる為会長を受ける」と言われた。会長就任後も全面的に努力され道半ばでご逝去され誠にもって残念無念である。合掌。

●岡本日登志（中大短距離選手→織田幹雄先生の秘書）

織田陸上がご縁で親交を深める。1999年全日本クロカン（広島、西城）他上京の度に相談アドバイスを受ける。西田、折橋、一木、土井、そして鶴田氏亡き後親密に陸上全般的に良き相談して頂いた。「良き人良き相談相手に恵まれた」が何時かは一人。

●青木半治（日本陸連会長→当連合3代目会長）

1993年宮崎世界大会最終走者で点火者、五輪女子100m金メダリストのアシュフォード（米）、フランク・ショーター（米）と共に点火。織田、西田会長の後、当連合3代目会長に就任して頂き光栄。第20回記念国際・全日本マスターズ選手権熊本大会や20回記念式典に参加された。尚、1989年第10回記念大会（和歌山）を視察され興味を示されていた。

日本陸連理事70年史編さん時の主な方々

藤枝昭栄英、帖佐寛章、朝隈善郎、安田誠克、及川伊之助、木南道孝、高橋公一、鈴木伊佐夫、鈴木義元、安野茂雄、大野利雄、河野洋平、田中茂樹、村島論雄、深沢通之助、松田良男、長野元康、堀武夫、井上慎一郎、竹内三郎、大串啓二、浜松ヨシエ、安田炬明、柄元雄、柴田宏、桜井孝次、吉田正平、松岡昭雄、田中常夫、柿田嘉徳、田中淳浩、折野栄子、服部利夫、渡辺勇夫、岡野進、石田芳正



●トーステン・カリウス（スウェーデン公認会計士→第3代目世界マスターズ会長）

1996年第4回世界ロード神戸大会で来日。親交を深める。大会前から世界大会でお会いする度世界役員との交友関係を深めていた。長身でイケメンの気さくな彼とは気心が合い、大阪で日本食を食する関係であった。早くして逝去され残念。



●畠山榮造（東亜燃料社員→和歌山マスターズ副会長）

第10回、国際・全日本マスターズ大会（和歌山）以降当連合事務局にボランティア勤務。温和で誠実な人柄で競技全般にわたり精励。特に1998年第4回世界ロード神戸大会資金問題で、河里氏と共に貢献された。

●河里英世（青陵高校教員）

50歳で高校に転任した青陵高校の先輩、教員・退職後ボランティアで当連合事務局に畠山氏同様温和と誠実、機転と優秀な能力を持ち事務局運営に貢献。和歌山、近畿、全日本の普及振興に貢献。特に第4回世界ロード神戸大会資金問題で共催の朝日新聞幹部と交渉、当連合20回記念式典開催資金調達に活躍した。

●紀 政／チー・チェン（中華台北国会議員、元混成競技世界記録保持者）

1988年第5回アジア大会（台南）4万人収容の超満員競技場開会式は圧巻。93歳の最終走者王錦昌さんの点火はお見事。生徒に見学させマスターズ大会の良さを認知させる。紀政氏の演出心配りは素晴らしい。第4回世界ロードや訪台の時、多忙の中故宮博物館などに特別招待され歓迎されている。感謝。

●ハリ・チャンドラ（シンガポール、アジア WAMA 代表）

第4回アジア大会（ジャカルタ）大会以来の親交。日本代表の総務としてアジア会議に出席、アジアを1つにまとめた手腕が認められ親交を深めた。第10回アジア沖縄大会時私がアジア会長に就任。毎年和歌山に来和協議を重ね、アジア、世界大会等でアジア組織の充実に努めた。アジア・世界の実力者で家族挙げての親交があり、私の良き理解者、援護者である。感謝感激。

●大嶺秀宣（琉球倉庫会長、沖縄陸協会長歴任）

日本列島一周マラソン、1983年沖縄一周時以来の交友。翌1984年から正月に社員で沖縄一周リレーマラソンを敢行する熱心さ。1999年世界大会（英）M60走幅跳金メダリスト。大の陸上マスターズ愛好者。上京時や訪沖時には特別歓待されて恐縮している。アジア会議（シンガポール）に自社の社員を交通宿泊費持ちで無料通訳して頂いたこともある。感謝。

※温故知新、自分は多くの人々にご協力ご支援されていることに改めて感謝感激。

7

定年退職期、マスターズ円熟期 1997～2006年

●松川文隆（セントラルフィルター会長）

第12回世界大会（南アフリカ）1997年で出会い大会後のケープタウン喜望峰訪問で親交。マラソン競技に参加、沿道の握手が原因で深夜の病院他マスターズアジア大会（大連の出来事）など。東京帝国ホテルの豪華な次女結婚式には度肝を抜く圧巻。訪社時や訪宅時には異例の家族ぐるみの歓待を受け恐縮する次第。また見聞したことの事象をご教示頂き、世界の広さを体験。

●川瀬重道（サンミック会長）

女子レスリング育ての親、2003年から女子レスリングに代わり、マスターズピック実現へ大志を推進する私を支援5年間多額の浄財を支援頂いた。公正取引委員会の公正な判断なくサプリメントを一斉に規制したのは大変遺憾で会長も大変残念がられた。これにより大志を描く私の夢「マスターズピック・マスターズ大学」は遠のいた。順調に業績を伸ばし人々の健康増進に寄与させていたのに誠に残念痛恨の極みだ。時の政治家次第で悲しい。



●田淵和彦（日レク社長）

20数年来のマスターズ支援者で良き理解者、学生陸上連合その他のスポーツ団体を支援している。豊岡でスキー場やスポーツランド、合宿所など経営多方面でスポーツ活動を支援している。大阪心斎橋に本社を置き、マスターズ会議等無料借用し種々のアドバイスを頂いている。

●辻哲夫（元厚生労働省事務次官）

審議官時から超多忙の中、私の訪問時寸時でも必ず面会して頂いた。2009年マスターズゲームズ滋賀大会やマスターズ関連イベント、省庁人事関係とマスター全般に亘る関連の相談に気さくにアドバイス頂いた貴重な方で国松知事と数回温泉等でお会い出来た。

●ウィリー・バンクス夫妻（元五輪選手で三段跳世界記録保持者）

バンクス手拍子のパチパチは有名。集中力を高め、観衆の注目を集めて適度の興奮を高める。第10回国際・全日本マスターズ陸上（和歌山）大会に招待。以後家族ぐるみの親交。世界大会に会う度に親交深める。東京にバンクス東京支社があり東支社長と交流がある。

8

高齢期、マスターズ振興期 2007～2016年

●レックス・ハーベイ（米マスターズ代表者）

2009年大阪世界陸上に来日、親日派でそれ以降の交友関係。来和され大橋和歌山市長と共に記念写真を撮った。スタン・パーキンとの会長選挙、僅差で敗れたが互角（勝っていた）を意にせず潔く素晴らしい人、私との信頼度は深く偉大な人だった逝去され誠に残念。

●室伏重信（中京大教授、元五輪選手）

アジアの鉄人の異名で五輪4回出場。日本選手権ハンマー投げ10連覇達成。宮崎世界大会出場M45世界記録達成以来の親交で当連合副会長、アジアマスターズ名誉副会長を歴任マスターズの良き理解者。直近上京度に会食協議を重ね次期会長直前に日本マスターズ側近の甘言にのせられ辞任されたのは誠に残念至極だ。

●尾崎宏（弁護士→当連合副会長）

歴史ある東大陸上OB会幹部。銀座一等地に尾崎事務所を構え当連合副会長で活躍・普及振興の為、事務所内に新組織改革案を依頼進行中であった。晩年大病を患い急逝され大変残念である。

●横川浩（大阪ガス専務、日本陸連会長）

日本陸連五輪選考会（川崎）時にお会いし、多忙の中必ず全日本マスターズ選手権にご参加された。又陸連関係行事等でも気さくに声掛けられるマスターズの良き理解者で第40回記念国際・全日本マスターズ陸上でお会いしたのが最後になっている。

●島正博（島精機会長）

世界の島精機会長。日本のエジソンの異名。数々の発明で和歌山一大企業に発展。大変な努力家で苦労人。和歌山マスターズ会長で当連合4代目会長になられた梅田善彦氏と親戚関係。和歌山でのイベント時に多額の資金提供して頂く大スポンサーに感謝。2017年37回全日本マスターズ大会時に梅田会長亡き後もご支援頂き感謝の念でいっぱい。フォルテワジマ社長千景氏は長女で私の教え子。

●河村建夫（元官房長官、当連合副会長、国際マスターズ連合会長）

文科大臣、官房長官を歴任政界の大功労者。温和な人柄でスポーツ理解者である。当連合副会長、名誉副会長、国際マスターズ会長で卓球協会の副会長を兼ねる。

●西川晃一郎（日立製作所重役、日本実業団連合会長）

愛媛国体、茨城国体等でお会いし気安くお話を頂く。棒高跳五輪選手や世界旅行で印象深い場所が一致する。独身時代映画で観た「南太平洋」に行ってみたいと話すと「良い所でハワイにある」と教えられる。マラソン日本新記録樹立者に1億円提供したユニークな発想者実現者である。

●松本正義（住友電工会長、関西経団連会長）

日本国内で今煌めく天下の住友電工会長。2025世界万博をはじめ多数のイベントの要職を兼ね日本陸上界、東京五輪選手を多数輩出、自らも選手出場するスポーツマン。2015年自社主催の陸上競技大会以来一味違う偉大な方と直感している。

●尾花正啓（和歌山市長）

温和で実直な政治家、就任以来幾度の出会いや訪問してマスターズイベントや国際ゴールド和歌山開催に理解頂いている。生涯スポーツ推進の良き理解者である。

●松本俊裕（住友電工前監督、当連合常務理事）

2018年国際ゴールド奈良大会に2017年から奔走した一人。100回以上の会議相談を重ね、当連合正常化に努めるエリート社員。豊富な陸上経験と知識人脈は貴重な存在。自身の陸上実績も凄い。

●廣島日出國（朝日化成元監督、日本陸連元理事）

日本列島一周マラソン時元旦にも関らず宗兄弟を伴走させて頂いた。初代全日本マスターズ駅伝時選手集めに積極的にご協力頂いた。陸連理事時代のポン友で永年お付き合い頂いた。エロイ話もする仲で同年配か気心が合い大変お世話になり深謝。



●山本敦（石川陸協理事長、日本陸連理事）

北陸地方きっての陸上リーダーで陸連の重鎮。全日本競歩選手権他多数のイベントを開催。マスターズ陸上を理解され、石川マスターズ会長を快諾全日本マスターズ選手権や混成競技選手権を開催された当連合顧問である。金沢訪問時に歓待され感謝。

●川上明生（長崎マスターズ事務局長、熊本マスターズ会長）

日本列島一周マラソン1981年12月31日長崎平和公園出発時から福岡市内まで宣伝カーにて広報報道して頂き、第4回全日本マスターズ選手権を開催した功績者である。尚当連合の記章は彼の発案で作成されたもの。同年代でもあり全日本マスターズ40回連続出場者で当連合をこよなく愛する実力者。2000年発刊の「私とマスターズ陸上競技」は「森田真積、田中重治、川上明生、鴻池清司」の共著である。

●松井一恵（名古屋大出、河合塾、英語通訳）

2000年より通訳職員として勤務、アジア、世界全般を担当。アジア、世界大会は勿論、文書処理一切や2012、2013年に県から委託された中高齢者スポーツ支援事業事務局長として大活躍多くの実績を残し県から優秀な人材と称賛された。若くして逝去され惜しい人材を失い痛恨の極みである。合掌。

●中山正勝（和歌山県職員、和歌山マスターズ副会長）

紀南地方の会員を代表して普及振興に活躍されている。理事会や県職OB会で和歌山市に来る度来局協議している。紀南地方新聞にも全日本マスターズ陸上他会員の活躍状況を掲載し重宝がられる副会長である。

●大崎剛彦（元水泳五輪銀メダリスト、水泳マスターズ会長）

五輪平泳ぎ銀メダリスト、水泳マスターズ会長、国際マスターズ会長。連合創立構想に、大崎、笠原、私の3人が10年を掛け創立した水陸中心の「国際マスターズ競技連合」。2012年6月一般社団法人として創立。初代会長に就任された方で、2009年9月京都で水陸国際ゴールドマスターズ大会を盛大に開催成功裡に終了させた。大功労者である。志半ばで過労死されたのは誠に残念。

●タン・ウエンフェイ（シンガポール陸連会長他）

2012年第17回アジア大会（中華台北）で室伏氏と共にお会いした。豪快な方でアジア組織に資金提供され第18回アジア大会（岩手北上）に招待。佐々木文夫夫妻と共に花巻温泉で親交を深め、約束通り第19回アジア大会（シンガポール）実施された。

●吉野トヨ子（元五輪選手、埼玉マスターズ会長）

第15回記念全日本マスターズ陸上選手権開催の立役者。プレゼンターが元女子五輪選手で大会に華を添えた。気丈な方だが、大会後私がかけた「お疲れ様でした」の一言に涙ぐむ優しさと成功裡に終了させた功績を忘れない。私が国体400m入賞の上尾競技場が想い出深い。

●ヴィバット・ピグランタノロス（タイ）

4期16年間アジア会長後継に第3代会長となった彼はタイ・バンコクの温和で誠実な名士で親日家。第13回、第15回アジア大会を開催成功させた。第15回記念大会チェンマイ開催時記念植樹を行うなど大歓迎された想い出など数多い。私の親友である。

●織田正雄（織田幹雄氏長男、独州政府提携社長）

織田会長訪問時にお会いし織田陸上など岡本氏の仲介で親交を深める。上京時等ホテルニューオータニ内会社訪問時に再三ご招待された。2004年連合法人記念式典（大阪）で、今日あるのは「鴻池理事長の努力の賜物」と祝辞頂き熱淚を流した。

●織田和雄（織田幹雄氏二男、三菱商事職員、連合副会長）

上皇陛下の仲介人でテニスの名人「テニスが結ぶ恋」を実らせた人。マスターズクロカンや全日本マスターズ大会にも出場される実践派。マスターズ副会長、名誉副会長に就任され大所高所から貴重な意見を述べられている。大病克服後も健在でマスターズの理解者。

●天野喜代子（西田修平氏長女、連合顧問）

連合創立時からの交友で来和される度お会いする。2011年全日本マスターズ選手権に南部久子氏と砲丸投げに出場された。マスターズ初のスポーツ殿堂「織田幹雄、西田修平、鴻池清司、森田真積、田中重治」表彰式に出席。現在も全国に例のないわかやまスポーツ伝承館に掲示されている。



●松本国夫（中体連事務局長、中体連連絡理事）

1992年以来陸連理事会でお会いしてから逝去される迄の親友。上京の度に中体連事務局で歓迎された。マスターズ駅伝最盛時に私が中学駅伝推奨し熊本大会を実現させた功労者。マスターズ駅伝コース視察の為熊本地方を訪問。水俣旅館ご一緒の露天風呂で新婚夫婦に出会った想い出が懐かしい。中体連の大先輩で気さくな好人物であった。

●鰐淵淳（セイコー電子陸上部監督、当連合理事競技委員長）

青森～東京間駅伝で活躍し実子も市立船橋時代に全国高校駅伝で区間賞を取るなど陸上一家。伊豆に合宿所を購入指導する超駅伝一家である。全国に知人が多くアジア網走マラソン大会や北上マラソン等彼の紹介が出発点。都内をはじめ随分と美味しいものや居酒屋等を紹介頂いた。忘れ難い真面目な親友である。

●右田忍（鹿児島県職員、当連合理事）

薩摩隼人らしい豪快さと優しさがあり、女性にもてるタイプの人。広島訪問時に数人でご一緒した居酒屋はマスターズの宴会になりママお気に入りの人でした。仮装した宴会は忘れ難い想い出である。2002年全マスターズ駅伝桜島大会の大歓迎。2004年全日本マスターズ選手権大会を成功させた、第10回全日本マスターズ駅伝記念大会（鳥取）自ら区間賞の快走で鹿児島チーム優勝に貢献された。訪鹿時や来和時に親交を深めた幾多の想い出は忘れ難い。兄弟以上の親友だ。



●小野寺登（新日鉄釜石社員、自営）

岩手県内で幾多のマスターズロード大会を創設。全国勤労者駅伝を企画成功させた。ブルちゃんの異名を持ち、よくよせず豪放磊落さと弁舌家でマスターズの普及振興に努力した。岩手訪問時は夜のパトロールに案内され、「哀愁列車」が得意の他、再三ピリピリ温泉に浸る裸の付き合い「全裸で見下ろす下界は雪化粧」晩年私をこよなく支持激励された。良き友である。

●笠原一也（文科省競技スポーツ課長→JOC委員会事務局長→国立スポーツセンター長）

和歌山保健体育課長当時から面識、スポレク他スポーツイベント、国際マスターズ連合等で種々とご指導頂く識者。現在多数の生涯スポーツ関係会長を務められ超多忙の日々を送る。

●国松善次（滋賀県知事）

2009年、世界マスターズゲームズ誘致に奔走。今一步私の連言で撤退。誠に申し訳ない。

2001年日本一周健康リレーに特別参加以後マスターズ愛好者、実践者。2000年、2001年全日本マスターズ駅伝に財政援助され成功裡に終了させた。健康長寿実践者で体験に基づく講演は定評がある。

●山仲善彰（野洲市長）

2009年、世界マスターズゲームズ誘致関係者、氏の連言を知事に進言撤退した。

2015、2016、2017年の3年間全日本マスターズ駅伝滋賀大会に野洲市から600万円財政援助して頂いた他マスターズ陸上全般に亘りご指導頂く良き理解者である。

●国分一郎（愛知陸協副会長、陸連理事）

陸連理事時代からの交友で30回記念国際・全日本マスターズ大会や式典、全日本マスターズ駅伝等全般に亘り大変お世話になった友人である。

●飯田鎮（一級建築士）

エクシブ白浜を設計した彼は100m走者で県記録保持者。知人をホテルに無料宿泊させて頂き来和時に必ず来局事務職員を厚遇された。

●宇佐美彰朗（元五輪マラソン選手、東海大教授）

2005年アジアマスターズスポーツフォーラム（和歌山）で講演頂き、日本マスターズ実技指導等で実践頂くマスターズ愛好家で生涯スポーツ研究家であり造詣深い好人物である。

●曾根幹子（元五輪走高跳選手で日本記録保持者、広島大教授）

長身容姿端麗の元五輪選手、陸上研究家で歴史研究家、1964年東京五輪を誘致実現された和歌山の和田勇氏研究他多方面に亘り研究されている。南部忠平ご夫妻との交流深く、マスターズ愛好家である。

●世界大会 写真



●熊本写真



後列 ○ ○ ○ ○
福島知事 鴻池 三角市長
前列 ○ ○ ○
青木

●世界ロード(ベルギー)



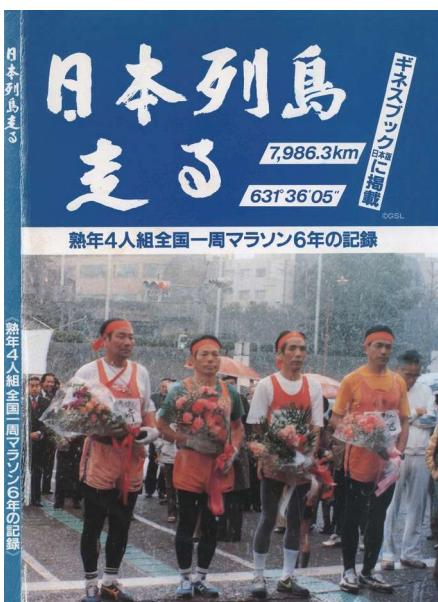
○ ○ ○ ○ ○
鴻池

●東京3人



○ 衣笠 ○ 鴻池 ○ 長嶋

●日本列島走る



●東京



○ 古橋 ○ 鴻池

●大阪4人



○

鴻池

○

森

○

大崎

●広島5人



○

岡本

○

亀井

○

織田

○

小掛

○

鴻池

●大分2人



○

村山

○

鴻池

●和歌山5人



○

尾花

○

梅田

○

鴻池

○

横川

○

仁坂

●岩手2人



○

高橋

○

鴻池

●日本マスターズ陸上競技連合 創立20周年記念式典



後列○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

鴻池

前列

○ ○ ○

鴻池

○ ○ ○

1978年和歌山マスターズ陸上設立、1980年日本マスターズ陸上連合創立後40余年を終え充電期に入った。

●板東浩（医学博士、当連合国際科学委員長歴任）

陸上、野球、スキー、音楽等多彩。104歳医師の日野原先生を尊敬する大の陸上愛好博士。

「スーパー高齢者の50の習慣」他健康関係著書多数。いつまでも100m13秒台を目指す。

●大橋一男（大阪府知事秘書、当連合専務理事）

当連合専務理事、陸連連絡理事を歴任、晩年視力を失いながら、マスターズ陸上発展に寄与。

●松島忠士（住友生命社員、大阪マスターズ役員）

2000SCの名手、全日本マスターズ駅伝監督等で活躍。宮城、鳥取等転勤しながらマスターズに精励、大阪、近畿、当連合の発展に寄与されている。

●前田賀屋子（滋賀陸協、アジアマスターズ幹部役員）

私が会長辞任後2014年から日本マスターズ唯一のアジアマスターズカウンシルメンバーとして貢献。

●早狩実紀(元 3000SC 五輪選手で元日本記録保持者)

2018年世界大会2000SCのW45世界新優勝、2位に一周以上離す快挙。全国女子駅伝華の1区の常連区间賞。マスターズ陸上実践者。

●末續慎吾（元五輪選手 200m 日本記録保持者）

全日本マスターズ鳥取、群馬大会に出場日本新を連発。マスターズ実践者。

●朝日永光（アステム副社長）

2018年奈良ゴールドマスターズ大会の実質運営責任者で成功裡に終了さす一方、鳥取マスターズ駅伝にも貢献。当連合発展に尽力。

●山田清美（佐賀マスターズ、九州マスターズ理事長）

当連合混乱に正常化執行部の中心となり活躍する九州男児で頼もしい存在。

①日本陸上競技連盟

(藤田幸男、服部利夫、沢木啓祐、板橋弘徳、鈴木存、田中崇、友永義治、三宅勝次、小松邦江、松岡昭夫、田中利雄、小林晃、石田芳正、野崎忠信、山本征悦、藤森晋、田中清司、田中良子、尾縣貢、風間明、関幸生、多田光次、原悦子、上嶋実)

②日本代表五輪選手

(南部忠平、大島鎌吉、田島直人、飯室芳男、山田敬蔵、高橋進、的場淳吉、岡崎高之、飯島秀雄、安田寛一、三木孝志、横溝三郎、小倉新司、笠原章平、采谷義秋、高野進、宗茂、宗猛、瀬古利彦、中山竹通、吉田雅美、高根沢威夫、松井江美、阿久津浩三、溝口和洋、小保内聖子、木崎正子、佐藤恵、浅井えり子、八木たまみ、弘山晴美、有森裕子、山下佐知子、川上優子、青戸慎司、室伏広治、室伏由佳、為末大、朝原宣治、伊藤浩司、鈴木博美、千葉真子、浅利純子、宮原美佐子、荒木久美、小鴨由水、早狩実紀、池田久美子、福士加代子、中村友梨香)

③日本マスターズ陸上競技連合

(南部久子、永井国太郎、山田章、田中重治、渡川孝子、伊良波長正、及川等、宮田多良喜、横田孝、永田安之輔、熊倉重、津野瀬智、山崎英也、桜井久一、井口輝男、一柿俊明夫妻、白川政市、宇田春男、内藤勝重、須田雅昭、松田寛次、吉川昇、高橋正、小池良司、海老沢武雄、八田努、亀井郁夫、青川謙、山田展也、佐藤義彦、岡田豊、岡田宏一、中西邦康、佐藤幸夫、外園イチ子、皆木しげる、高原良祐、貝原幸三、八重樫輝男、佐々木文夫、石田秀雄、逢坂十美、藤井晃治、宮本武利、中村勇、勢理客友子、岩垣成記、置塙正剛)

④近畿マスターズ陸上競技連盟

(角南昌弘、小島義雄、澤村太郎、小柴幸文、野村正夫、小林優、加古文子、岩田宣清、角良、八ツ本三郎、川崎隆夫、林佳弘、増田和市、清水省三、小阪英一、清原博、古川尚、飛田政司、植田清宏、岡田登史彦、中筋道子、赤峰フミコ、松下辰雄、下村玲、山中保博、真藤寿美夫、宮本久義、岡本貢、北良夫)

⑤和歌山マスターズ陸上競技連盟

(石井茂十郎、山根啓次、川村佳代子、宮崎武英、山本幹夫、堀越司、泓本欣一、得津幸一、小山清一、安部公雄、手平裕造、松本修吾、及川猛、中川尚二、井口邦俊、山本和弘、二階俊博、世耕弘成、門博文、鶴

保庸介、岸本修平、石田真敏、福島妙子、安東八重子、横出東輝子、畠中信子、松本朋子、井上直樹、加藤恵子、前田治、櫻葉正晃、坂本正行、長谷利明、山本一也、鈴木信行、伊藤倫之、田和清文、植田和宏、大倉美邦、田輪幸一、篠原壽文、関健一郎)

⑥和歌山陸上競技協会

(坊秀男、中西啓介、大桑培嗣、林泰行、北野喜多男、中川清、辻井忠治、岩橋将夫、坂口善郎、岩前光男、四至本晴夫、山本宣史、小林俊和、玉井尚、土木敏晴、得津純男、千原淳太郎、山中茂和、長谷康富、藤田義雄、栗本充之、関根忠志、桑原久二夫、八木正勝、松本一廣、西口正雄、中谷隆哉、玉井一人、土佐一喜、中村勝久、和中嘉弘、山本博司、吉田克久、川村栄司、山下育作、清水歩、氏野修次)

⑦想い出の知事首長

沖縄（太田昌秀、東門美津子）宮崎（河野俊嗣）熊本（福島譲二、三角保之）大分（平松守彦）愛媛（中村時広）鳥取（平井伸治）兵庫（貝原俊民、井戸敏三）京都（荒巻禎二、門川大作）石川（谷本正憲）埼玉（土屋義彦）岩手（高橋敏彦）和歌山（西口勇、仁坂吉伸、旅田卓宗、大橋建一、神出政巳、中村慎司）

⑧日本マスターズ事務局

(坂田栄一、河里英世、及川等、広谷信夫、木原悦子、宗裕子、薮谷適、井口邦俊、手嶋彰夫妻、梅原喜美子、西仲紀子、松尾早恵子、池内ひろ子、宮本淳子、清水理恵、和平史子、松井一恵、三城千代、中村彰宏、高橋英明、浅野美恵子)

⑨競技団体関係

(上木通夫、津野瀬智、古賀元晃、北村勝、遠藤連之助、宮田多良喜、原源造、油野俊博、浦二郎、鹿児島進夫妻、植月正章、岡崎助一、坂本譲次、岡田宏一郎、豊岡志朗、山地啓司、山口正信、長ヶ原誠、木下博夫、多田光次、高橋一夫、黒木昊、師岡文夫、田島文博、角屋昭一、左海伸夫、坂口全彦、鶴市ちよ、大津英彦、田中克之、大江嘉幸、岡田祥裕、山下直也、茂原治、黒瀬康雄、田中章二、南進、田口利正、神達靖久、稻垣隆、黄倉寿雄、中沢丈一、稻垣裕、森野一則)

⑩報道関係他諸団体

青山行雄、水野正人、水野明人、上治丈太郎、渥美保、上野重喜、岡田晃、北野栄三、鈴木裕範、永井祐治、小川武、中村明司、松岡靖之、玉木通夫、竹部靖乃、平松喜一郎、田原サヨ子、安延正和、中村栄三、加百正志、川井淳史、掛園勝二郎、島崎光郎、滝川

毅、長岡民男、満園文弘、野々村邦夫、増谷彰信、江川隆之、中西利夫、三木民雄、山西清彦、若林幹雄、吉村善雄、勝本僖一、富岡敬次郎、日高康貴、岩本尚、東希篤、大野未賀、佐々実、桂文福、中川貴照、東浩二、小蘭江文夫、時田真次、津村周、岩崎良幸、藤田紀、西博義、中俊博、本山貢、中沢卓夫、土倉敏雄、中世亨、中馬章一、清水洋一郎、宇和千夏、中原満久、谷奈々、山口裕市、江川哲二、島光博、林宏、伴一郎、豊田康史、海堀崇、有田佳秀、石川昌紀、赤井由賀里、田村知久、永井規雄、宮崎泉、田中健司、原田亞紀夫、中尾義理、高橋克実、坂戸圭太、山下真司、坂部貴行

⑪職場関係

日清紡（油田晴男、臼井一生、藤本昇）住金和歌山（富士真澄、木下邦彦）西和（田村雅弘、川口修、林紀男、野崎礼子、土井繕）東和（奥村良一、中井泰正）日進（永富明亮、林秀州）西浜（三崎博、上野貞三、丸山勝正）伏虎（吉田澄江、山本定子）西和（宮本秀雄）青陵（浅井章寛、浦井健蔵）市和商（芝田寿、藤田正）藤本藤雄、菅野正治、若林啓介

⑫主な競技仲間

東信義、植田豊、石川薰夫妻、田茂井宗一、田崎元一、駒崎実、吾郷辰郎、高瀬幸男、東富雄、相部憲郎、中田保、石川信夫、肥後秀彦、田島清、内田浩次、石神三郎、益田斉、田中博男、森清、大谷佳介俊男、山口巖、佐藤武夫、大小田靖男、芳賀一博、安井毅彦、今橋義人、尾崎公則、清水久七郎、山崎雅彦、大江良一、鈴木郁子、新庄智子、中筋道子、中村喜美子、大岩清美、松田瑞枝、大日向暁子、嘉成朋子、倉津緑、苅部裕子、渥美裕子、渡川孝子、玉田ゆみ子、野口八重子、深尾真美、尾崎悦子、高橋紀子、末吉真規子、藤川千加子、太田くるみ夫妻、倉岡国夫、西内久美子、吉川修、平田数秋、八木実、中野陽子、宮内義光、石原正雄、葛西康二、本田豊、宮崎幸子、田村万里子、宮田直美、安東由香利、大江由子、福久里武、森田真積

⑬主な教え子競技中心

西和（津田和夫、丸山勝実、川端淳一、宮本明彦、岩本隆弘、湯川哲生、福谷公伸、関根岳志、中野とし美、鈴木孝志、中前伊津子、豊田寿々、西川清美、開禎子、二木香陽子、柳本和子、田中久子、野尻麻香）東和（久城智章、吉田敦、片桐章治、西川夫佐子、大畑勝）日進（本谷敏也）西浜（沢口雄正、矢川広信、梶千里、中野律、井指弘之、芝田文、清水泰生、武田真由美）伏虎（平柳彰、土橋和紀）西和（梶本武志、藤田敦、青木ひとみ）青陵（須賀良知）

全日本マスターズ陸上競技選手権大会開催地一覧

回	期日	開催地	参加県	参加人数	最優秀選手 織田賞	男子優秀選手(西田賞) 女子優秀選手(青木賞)
第1回	1980年 10月18日～19日	和歌山県	47全	447		男女 今田 渡川 幸子
第2回	1981年 10月3日～4日	山梨県	47全	662		男女 高瀬 幸男 大山 富子
第3回	1982年 10月2日～3日	東京都	47全	990		男女 宮田 多良喜 金城 春
第4回	1983年 10月22日～23日	長崎県	45都府県	604		男女 森田 朝山 晴子
第5回	1984年 10月6日～7日	沖縄県	45都府県	727		男女 相部 憲郎 入江 辰江
第6回	1985年 10月12日～13日	徳島県	47全	843		男女 竹中 利雄 渡川 孝子
第7回	1986年 10月18日～19日	東京都	47全	977		男女 貝原 山本 幸三 翠
第8回	1987年 10月17日～18日	広島県	47全	895		男女 松本 太郎 村本 みのる
第9回	1988年 7月30日～31日	秋田県	47全	769		男女 森田 新庄 真積 智子
第10回	1989年 10月14日～16日	和歌山県	47全	1235		男女 平野 黒崎 武志 しのぶ
第11回	1990年 8月25日～26日	山梨県	47全	1084		男女 岡崎 正巳 大岩 清美
第12回	1991年 11月1日～3日	宮崎県	47全	1011		男女 高根沢 威夫 中村 千枝子
第13回	1992年 9月11日～13日	鳥取県	47全	1132		男女 渡邊 源太郎 大日向 暁子
第14回	1993年 5月28日～30日	兵庫県	47全	1638		男女 田口 英雄 嵐 直子
第15回	1994年 9月16日～18日	埼玉県	47全	1654		男女 上田 美春 山本 翠
第16回	1995年 10月8日～10日	神奈川県	47全	1645	大日向 暁子	男女 金森 幸作 中村 紀子
第17回	1996年 9月14日～16日	富山県	47全	1516	木村 善三	男女 西谷 幸一 中村 嘉美子
第18回	1997年 9月13日～15日	大分県	47全	1375	堤 一彦	男女 財部 重彦 結城 香枝子
第19回	1998年 10月14日～19日	沖縄県	47全・アジア	1931・571	堤 一彦	男女 安里 勝正 高橋 美津子
第20回	1999年 11月20日～23日	熊本県	47全・8外国	2192	大岩 清美	男女 野中 武雄 大塚 智恵子
第21回	2000年 10月20日～22日	岩手県	47全	1278	岡崎 正巳	男女 三川 和夫 川崎 弘子
第22回	2001年 10月26日～29日	静岡県	47全	1782	大日向 暁子	男女 木村 喜三 中村 紀子
第23回	2002年 8月30日～9月1日	鳥取県	47全	1250	大日向 暁子	男女 木村 喜三 山本 翠
第24回	2003年 9月26日～28日	石川県	47全	1213	田茂井 宗一	男女 田中 重治 山本 翠
第25回	2004年 11月12日～14日	鹿児島県	47全	1303	宮内 義光	男女 田中 義平 倉津 緑
第26回	2005年 8月26日～28日	大阪府	47全	1448	石神 三郎	男女 原口 幸三 大日向 暁子
第27回	2006年 9月16日～18日	宮城県	47全	1165	下川原 孝	男女 山本 博 大日向 暁子
第28回	2007年 10月26日～28日	山口県	47全	1267	下川原 孝	男女 中道 伸 井出 雅子
第29回	2008年 9月26日～28日	宮崎県	47全	1265	下川原 孝	男女 前田 利保 守田 満
第30回	2009年 9月19日～21日	愛知県	47全・2外国	1573	宮内 義光	男女 高木 弘一 山本 翠
第31回	2010年 9月17日～19日	東京都	47全	2084	石神 三郎	男女 小堀 拓也 大日向 暁子
第32回	2011年 8月26日～28日	和歌山県	47全	1486	中野 陽子	男女 田中 博男 長谷川 政子
第33回	2012年 9月21日～23日	岡山県	47全・2外国	1961	中野 陽子	男女 泥谷 久光 細川 峯子
第34回	2013年 9月6日～8日	佐賀県	47全	1590	宮崎 秀吉	男女 大江 良一 細川 峯子
第35回	2014年 9月19日～23日	岩手県	47全・アジア	1944・935	宮内 義光	男女 芳賀 一博 玄蕃 昌子
第36回	2015年 10月30日～11月1日	岐阜県	47全・4外国	2196	亀濱 敏夫	男女 石田 保之 松岡 和子
第37回	2016年 9月17日～19日	新潟県	47全・4外国	2081	泥谷 久光	男女 安井 毅央 中野 陽子
第38回	2017年 9月27日～29日	和歌山県	47全・8外国	2263	山田 博嗣	男女 井指 康裕 末吉 真規子
第39回	2018年 9月22日～24日	鳥取県	47全	2015	中山 淳子	男女 松原 憲治 渡川 孝子
第40回	2019年 9月13日～16日	群馬県	47全・9外国	2231	宮内 義光	男女 池野 昌弘 金子 榮子

都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会歴代優勝チーム一覧 (対抗の部のみ)

回数	年度	月日	開催場所	男女混合	男子	女子	エルダー
1	1987	4月12日	大阪	兵庫			
2	1988	11月6日	大阪	東京			
3	1990	3月25日	大阪	東京			
4	1991	3月24日	大阪	兵庫			
5	1992	3月22日	大阪	大阪			
6	1993	3月7日	大阪	大阪			
7	1994	3月6日	大阪	東京			
8	1995	4月2日	大阪	神奈川			
9	1996	3月31日	鳥取	神奈川			
10	1997	4月20日	鳥取	鹿児島			
11	1998	4月19日	鳥取	兵庫			
12	1999	5月9日	和歌山	神奈川			東京
13	2000	4月23日	滋賀	鹿児島			大阪
14	2001	4月22日	滋賀	兵庫			京都
15	2002	4月21日	鹿児島	兵庫			東京
16	2003	4月13日	岡山		兵庫	兵庫	大阪
17	2004	4月17日	和歌山		兵庫	石川	大阪
18	2005	4月17日	福井		神奈川	兵庫	大阪
19	2006	4月16日	富山		長野	兵庫	茨城
20	2007	6月10日	滋賀		兵庫	滋賀	茨城
21	2008	4月20日	鳥取		兵庫	兵庫	福島
22	2009	4月26日	鳥取		兵庫 36	兵庫 22	愛知 27
23	2010	11月21日	山口		愛知 24	東京 15	神奈川 29
24	2011	12月18日	山口		長野 25	東京 12	福島 27
25	2012	11月11日	東京	長野 24			茨城 24
26	2013	3月2日	東京	兵庫 22			茨城 20
27	2014	12月7日	山口	兵庫 14			茨城 17
28	2015	3月20日	滋賀		兵庫 23	兵庫 17	茨城 23
29	2016	3月19日	滋賀		愛知 24	兵庫 17	兵庫 27
30	2017	10月1日	滋賀		愛知 24	兵庫 16	兵庫 23
31	2018	11月18日	愛知		愛知 24	兵庫 17	鳥取 27

※2012年よりロードレースを併催

2009年からの数字は参加チーム数（対抗・交流含む）

世界マスターズ陸上競技選手権大会（2001年までは、世界ベテランズ陸上競技選手権大会の名称）

回数	年度	開催月	開催場所
1	昭和50年（1975年）	8月	カナダ
2	昭和52年（1977年）	8月	スウェーデン
3	昭和54年（1979年）	7月	西ドイツ
4	昭和56年（1981年）	1月	ニュージーランド
5	昭和58年（1983年）	9月	ペルトリコ
6	昭和60年（1985年）	6月	イタリア
7	昭和62年（1987年）	11月	オーストラリア
8	平成1年（1989年）	7月	アメリカ
9	平成3年（1991年）	7月	フィンランド
10	平成5年（1993年）	10月	日本
11	平成7年（1995年）	7月	アメリカ
12	平成9年（1997年）	7月	南アフリカ
13	平成11年（1999年）	7月	イギリス
14	平成13年（2001年）	7月	オーストラリア
15	平成15年（2003年）	7月	ペルトリコ
16	平成17年（2005年）	8月	スペイン
17	平成19年（2007年）	9月	イタリア
18	平成21年（2009年）	7～8月	フィンランド
19	平成23年（2011年）	7月	アメリカ
20	平成25年（2013年）	10月	ブラジル
21	平成27年（2015年）	8月	フランス
22	平成28年（2016年）	10月	オーストラリア
23	平成30年（2018年）	9月	スペイン
24	令和2年（2020年）	7～8月	カナダ
			トロント（中止）

アジアマスターズ陸上競技選手権大会（2001年までは、アジアベテランズ陸上競技選手権大会の名称）

回数	年度	開催月	開催場所
4	昭和61年（1986年）	7月	インドネシア
5	昭和63年（1988年）	12月	中華台北
6	平成2年（1990年）	11月	マレーシア
7	平成4年（1992年）	11月	シンガポール
8	平成6年（1994年）	10月	インドネシア
9	平成8年（1996年）	10月	韓国
10	平成10年（1998年）	10月	日本
11	平成12年（2000年）	11月	インド
12	平成14年（2002年）	9月	中国
13	平成16年（2004年）	12月	タイ
14	平成18年（2006年）	11月	インド
15	平成20年（2008年）	12月	タイ
16	平成22年（2010年）	12月	マレーシア
17	平成24年（2012年）	11月	中華台北
18	平成26年（2014年）	9月	日本
19	平成28年（2016年）	5月	シンガポール
20	平成29年（2017年）	9月	中国
21	令和1年（2019年）	12月	マレーシア
			クチン

世界マスターズロード選手権大会

回数	年度	開催月	開催場所
1	平成4年（1992年）	8月	イギリス
2	平成6年（1994年）	7月	カナダ
3	平成8年（1996年）	6月	ベルギー
4	平成10年（1998年）	3月	日本
5	平成12年（2000年）	5月	スペイン
6	平成14年（2002年）	5月	イタリア
7	平成16年（2004年）	7月	ニュージーランド

世界マスターズ室内陸上競技選手権大会兼ロード大会

回数	年度	開催月	開催場所
2	平成18年（2006年）	3月	オーストラリア
3	平成20年（2008年）	3月	フランス
4	平成22年（2010年）	3月	カナダ
5	平成24年（2012年）	5月	フィンランド
6	平成26年（2014年）	3月	ハンガリー
7	平成29年（2017年）	3月	韓国
8	平成31年（2019年）	3月	ポーランド
			トルン

**自己鍛錬を積んだマスターズのアスリートが 伴走者と一緒に、
”健康日本”をタスキに込めて全国8000kmを
6ヶ月にわたって走破する日本一周健康リレーです。**

…・・ 走行コースと予定日 ・・…

第2ステージ

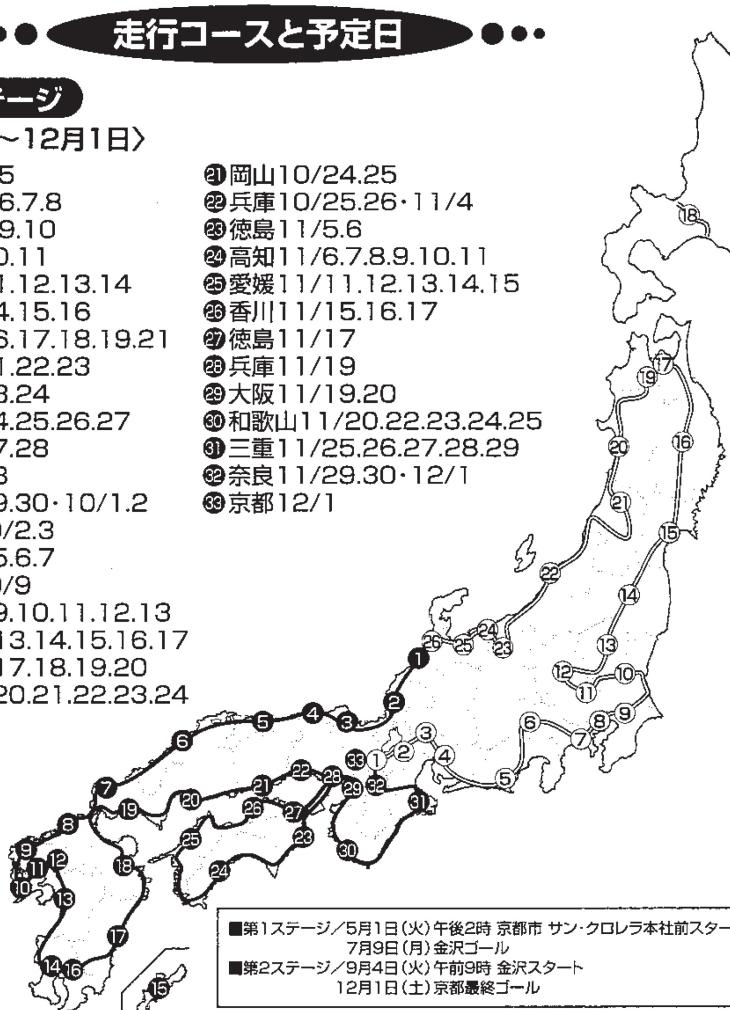
〈9月4日～12月1日〉

- ①石川9/4.5
- ②福井9/5.6.7.8
- ③京都9/8.9.10
- ④兵庫9/10.11
- ⑤鳥取9/11.12.13.14
- ⑥島根9/14.15.16
- ⑦山口9/16.17.18.19.21
- ⑧福岡9/21.22.23
- ⑨佐賀9/23.24
- ⑩長崎9/24.25.26.27
- ⑪佐賀9/27.28
- ⑫福岡9/28
- ⑬熊本9/29.30・10/1.2
- ⑭鹿児島10/2.3
- ⑮沖縄10/5.6.7
- ⑯鹿児島10/9
- ⑰宮崎10/9.10.11.12.13
- ⑱大分10/13.14.15.16.17
- ⑲山口10/17.18.19.20
- ⑳広島10/20.21.22.23.24
- ㉑岡山10/24.25
- ㉒兵庫10/25.26・11/4
- ㉓徳島11/5.6
- ㉔高知11/6.7.8.9.10.11
- ㉕愛媛11/11.12.13.14.15
- ㉖香川11/15.16.17
- ㉗徳島11/17
- ㉘兵庫11/19
- ㉙大阪11/19.20
- ㉚和歌山11/20.22.23.24.25
- ㉛三重11/25.26.27.28.29
- ㉜奈良11/29.30・12/1
- ㉝京都12/1

第1ステージ

〈5月1日～7月9日〉

- ①京都5/1
- ②滋賀5/1.2
- ③岐阜5/2.3
- ④愛知5/3.4
- ⑤静岡5/5.6.7
- ⑥山梨5/7.8.9
- ⑦神奈川5/10.11
- ⑧東京5/12.13
- ⑨千葉5/13.14
- ⑩茨城5/14.15.16.17
- ⑪埼玉5/17.18.19.20
- ⑫群馬5/20.21
- ⑬栃木5/21.22.23
- ⑭福島5/24.25.26
- ⑮宮城5/28.29.30.31
- ⑯岩手5/31・6/1.3.4.5.6
- ⑰青森6/6.7.8
- ⑱北海道6/10.11
- ⑲青森6/21.22
- ⑳秋田6/22.23.24
- ㉑山形6/25.26.27
- ㉒新潟6/28.30・7/1.3
- ㉓長野7/3.4.5.6
- ㉔新潟7/7
- ㉕富山7/7.8.9
- ㉖石川7/9



日本マスターズ陸上競技連合は、高齢社会の生涯スポーツ振興と福祉に貢献しています。

一緒に走ろう～ヨ！

〈参加申し込み先一覧〉各地区的受付事務局と代表者

北海道	01237-2-2674	島田 文雄	長 野	0268-31-3347	白鳥 隆夫	岡 山	086-421-9231	大森 康明
青 森	0172-75-2068	館岡唯与志	富 山	0763-68-2104	中 西 邦康	広 岸	082-838-2748	一 布 俊明
岩 手	0197-56-5495	千田 義正	石 川	0767-22-2544	石 田 秀雄	山 口	083-972-3518	池 田 和生
宮 城	022-289-6971	内藤 勝重	福 井	0776-54-0973	酒 井 泉	香 川	087-821-7372	池 田 善則
秋 田	0185-55-1377	袴田 勝治	岡 岡	054-285-4755	新 庄 智子	島 岸	088-686-9595	吉 崎 義治
山 形	023-622-3047	伊藤 貞夫	静 爽	0564-62-1178	鴨 下 克巳	島 島	089-932-7509	正 岡 建雄
福 島	0246-29-6855	佐久間満彦	知 爰	0596-22-0188	由 川 昇	島 岸	0887-56-0128	公 家 靖孝
茨 城	0299-23-8772	海老沢武雄	三 重	0593-84-5563	加 藤 救夫	島 岸	0948-57-1321	忠 紀 忠紀
栃 木	028-637-1659	五江潤 裕	岐 阜	0583-84-5563	木 村 清衣衛	島 岸	0952-31-3001	福 岡 忠和
群 馬	027-221-6981	鹿子島 進	滋 賀	0748-62-2291	古 川 尚	島 岸	0957-24-5334	和 愛 勝之
埼 玉	048-442-6491	駒崎 実	京 都	075-681-8969	吉 川 尚	島 岸	097-544-7654	福 岡 安浪
千 葉	047-465-9311	宮川 雅	大 阪	06-6872-4827	土 肥 智	島 岸	0964-33-3176	栗 林 寿美子
東 京	0426-56-7575	井口 雄	兵 庫	078-995-1443	小 阪 英一	島 岸	0985-58-5343	倉 岸 翁夫
神奈川	045-931-1363	佐藤 義衛	奈 良	0742-33-5186	眞 藤 審美夫	島 岸	099-261-5028	黒 木 通哲
山 梨	055-237-3906	戸井 徳造	和 歌 山	073-432-7416	鴻 池 清司	島 岸	098-876-6198	右 田 忍
新潟	0258-32-7230	今井 守雄	鳥 取	0857-72-0395	山 内 寿一	鹿 児 島		森 山 一 成
			島 根	0853-23-3965	吾 郷 辰郎			

日本列島一周



目的・実施方法

■目的

迫り来る高齢化社会への健康対策と生きがいあるライフワークを期して、1978年1月、全国のトップをきって結成した中高年齢者の陸上競技クラブ、和歌山マスターズ陸上競技クラブを記念し、前人未到の日本列島一周マラソンに挑戦して、自己心身の練磨とマスターズ陸上競技の普及発展を期するとともに青少年の意欲の向上に寄与せんとする。

■実施方法

1978年元旦の夜明けを期しスタート、7年がかりで全国一周約7,800kmを走破する。
4人の休暇が一致する正月を中心に、春、夏、秋の連休等に実施する。1日1人が10km余を順次交替で各3回、計35回。前後走る駆逐方式である。
走破距離と所要時間を詳細に測定、次代に備える。
荷物走者の輸送は、タクシー等を利用、試走なしの一発走破である。

・走者 和歌山マスターズ陸上競技クラブ員
有志メンバー

○宮崎武英(62才) ○山本幹夫(50才)
○鴻池清司(46才) ○堀越司(53才)
上野山馨(57才) 渡海宏(48才)

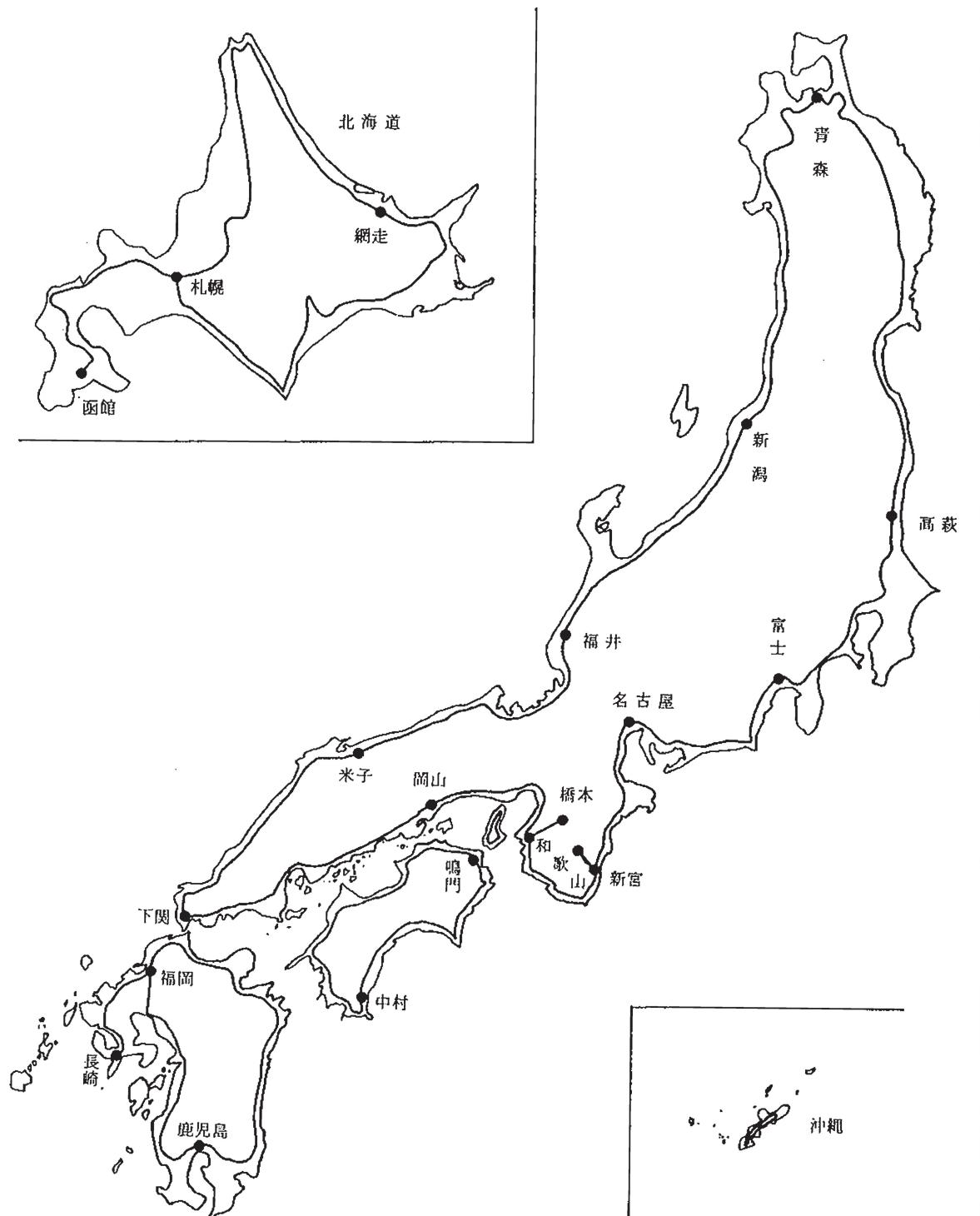
・その他 参加費用、傷害事故等は全て参加者自身の責任とする。

※ 走破るのは常に4人で、昭和59年1月現在〇印がレギュラーメンバーである。

7986.3km

- | | |
|------|--|
| 第1回 | 橋本～利根川～新宮～本宮
(300.1*。 22時間30分15秒) |
| 第2回 | 新宮～尾鷲～松坂～名古屋
(221.5*。 17時間30分30秒) |
| 第3回 | 名古屋～浜松～富士
(228.2*。 16時間22分20秒) |
| 第4回 | 富士～東京～高萩
(326.4*。 24時間 5分45秒) |
| 第5回 | 高萩～仙台～盛岡～青森
(627.55*。 50時間48分41秒) |
| 第6回 | 青森～能代～秋田～新潟
(499.6*。 39時間29分45秒) |
| 第7回 | 鳴門～高松～松山～中村
(414.4*。 33時間14分27秒) |
| 第8回 | 中村～高知～室戸～鳴門
(351.9*。 28時間 7分 7秒) |
| 第9回 | 北海道 札幌～えりも～帶広～釧路～網走
(694.7*。 55時間 8分 5秒) |
| 第10回 | 淡路島一周
(124.9*。 9時間29分35秒) |
| 第11回 | 新潟～直江津～高岡～金沢～福井
(384.9*。 33時間59分50秒) |
| 第12回 | 北海道 網走～宗谷～稚内～旭川～札幌～小樽～函館
(1041.1*。 85時間16分 0秒) |
| 第13回 | 九州 長崎～福岡～熊本～水俣～鹿児島
(470.2*。 36時間33分58秒) |
| 第14回 | 福井～舞鶴～豊岡～鳥取～米子
(420.9*。 32時間 3分23秒) |
| 第15回 | 米子～浜田～萩～下関
(369.6*。 29時間38分52秒) |
| 第16回 | 鹿児島～宮崎～大分～北九州～福岡
(525.0*。 40時間42分 0秒) |
| 第17回 | 下関～岡山
(369.1*。 27時間51分30秒) |
| 第18回 | 沖縄本島一周
(362.2*。 29時間38分57秒) |
| 第19回 | 岡山～大阪～和歌山
(254.1*。 19時間 5分 5秒) |

631時間36分05秒の跡



鴻池清司 著書・受賞歴一覧

主な著書

『日本一周マラソン半周記念号』『生涯現役わが陸上』『県下一周女子駅伝完走記』
『マイウエイ』『マイウエイ中編』『マイウエイ後編』『私と陸上競技』
『世界陸上競技選手権20回連続出場記念誌』『長寿国世界一日本の未来と生涯スポーツ』
『わが競技人生』

主な受賞歴

1977年 (財)日本陸連平沼章
1997年 ミズノメントール賞
1998年 (財)日本陸連秩父宮章
2005年 和歌山県スポーツ功労賞
2011年 (社)日本マスターズ陸上競技連合・初のマスターズ陸上殿堂入り5人現役唯一人
2015年 世界マスターズ陸上22回連続出場達成現役唯一人・WMAから功労賞受賞
2017年 アジアマスターズ陸上競技協会AMA から功労賞受賞

編集後記

米寿記念に「わが陸上総集編」を編集しようと思っていましたが、84歳を機に温故知新出会った恩人や思い出多き方々を思い浮かべ冊子を作成しました。生誕以来随分多くの方々にお会いしご理解ご支援頂きました。当初の50人から100人に、遂に112人になりました。筆述しきれず不十分な面が多々あろうかと存じますがご寛容下さい。編集しながら思わず目頭が熱くなり乍らの編集です。誠意をもって前向きに努力すればいつかは報われることを。氏名のみ掲載した方が多く、掲載できなかつた方々が多数あり陸上中心の人生ですが皆様に支え励まれ良い人生を送れることに深謝しています。生誕80余年順風満帆できなく10年に一度、意を異にする者や極端な利己主義者に悩まされる事象がありますが、人を恨まず常に前進あるのみ、余生を精進します。終活でお会いする楽しみを祈念しつつペンを置きます。有難うございました。 敬白

2021年9月1日

鴻池 清司

記

付録

- 1、 全日本マスターズ陸上競技選手権大会開催地一覧
- 2、 都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会歴代優勝チーム一覧
- 3、 世界マスターズ陸上競技選手権大会開催地一覧
- 4、 アジアマスターズ陸上競技選手権大会開催地一覧
- 5、 マスターズ日本一周健康リレー一覧
- 6、 日本列島一周マラソン8000キロ走破一覧
- 7、 鴻池清司 著書・受賞歴一覧

陸上競技（西和中）西和中学の陸上競技、日本一周マラソン半周記念号、生涯現役わが陸上、県下一周女子駅伝完走記、マイウエイ、マイウエイ中編、マイウエイ後編、私と陸上競技、世界陸上競技選手権20回連続出場記念誌、長寿国世界一日本の未来と生涯スポーツ、わが陸上人生

各期に出会った人々一覧

出会った人々	和歌山、徳島関係他	日本関係	外国
西暦 1937年			
西暦 1947年	小原昇次、吉成静夫 坂田健三、川井重臣 近藤尚之、大屋行雄	高井幸男、松尾稀勝	
西暦 1957年	湯浅藤吉、鈴木敏男 木水肇、藤井毅彦 大塚健純、南佐三 鶴田宏次、前島安夫 佐藤義一と父母 井本誓順、野口幸一郎		
西暦 1967年	大橋正雄、宇治田省三 内藤行雄、豊田まみ 本田陽、峯護	力武敏昌、佐々木吉蔵	
西暦 1977年	大山富子、渡邊源太郎 寺沢徹、織田幹雄 西田修平、後藤良平 土井勝、君原健二 小掛照二、佐々木秀幸 廣島日出国、笠原一也 渡辺雄二、広瀬豊 熊木利隆、吉岡陸太郎 大嶺秀宣、川上明生 鰐淵淳、右田忍 小野寺登	一木謙、折橋辰雄 寺沢徹、織田幹雄 西田修平、後藤良平 土井勝、君原健二 小掛照二、佐々木秀幸 廣島日出国、笠原一也 渡辺雄二、広瀬豊 熊木利隆、吉岡陸太郎 大嶺秀宣、川上明生 鰐淵淳、右田忍 小野寺登	ヴェルノ・ウィッシュマン(独) ロバート・ワタナベ(米) レイコ・ドウバー夫妻(米) ハリ・チャンドラ(シンガポール)
西暦 1987年	貴志八郎、浦井健二 河里英也、梅田善彦 長谷宗明、飯田鎮 五島治郎、畠山榮造 島正博	竹田賢治、増田明美 松形祐堯、佐藤耕一 生田秀正、江藤源哉 岡本日登志、青木半治 山本敦、吉野トヨ子 遠藤靖雄、松本国夫 織田正雄、織田和雄 天野喜代子	紀政／チー・チェン(中華台北) ウィリー・バンクス夫妻(米)
西暦 1997年	中山正勝、松井一恵	河村建夫、室伏重信 尾崎宏、大崎剛彦 松川文隆、宇佐美彰朗 国分一郎、辻哲夫 国松善次、山仲善彰 川瀬重道、田淵和彦	レックス・ハーベイ(米) トーステン・カリウス(スウェーデン)
西暦 2007年	尾花正啓、板東浩	横川浩、西川晃一郎 松本正義、山田清美 大橋一男、松島忠士 前田加屋子、曾根幹子	タン・ウエンフェイ(シンガポール) ヴィバット・ピグランタノロス(タイ)
西暦 2017年		松本俊裕、末続慎吾 早狩実紀、朝日永光	

鴻池清司の主な競技成績（日本・世界NO.1のみ）2021年3月現在

継続は力なり・マスターズは楽しく120歳現役目標実現

マスターズピック早期実現に全力投球中

夢は大きく 五輪・パラ輪・マスター輪 の早期実現

～特段のみなさま方のご理解とご支援を切望しています～

- 1・1984年1月、日本列島一周8000キロ走破
(ギネス日本版に掲載、現役ランナー唯一人競技中)



殿堂表彰式

- 2・2011年8月、日本マスターズ陸上殿堂入り
(生存者唯一人・故織田、西田、森田、田中)



世界大会(1600R 銀メダル左端鴻池)

- 3・2018年9月、世界マスターズ陸上競技選手権
(22回連続出場、世界で唯一人続行中)



スペイン(マラガ)

- 4・2019年9月、全日本マスターズ陸上競技選手権
40回連続出場 (日本マ連合役員兼務で唯一人続行中)



ガンバレマスターズ写真最優秀賞 2017年

- 5・2019年4月、府県陸上競技選手権61回連続出場
現役ランナーで日本、世界で唯一人続行中



2017年和歌山、仁坂知事・尾花市長
横川陸連会長他

- 6・2019年10月、陸上競技大会連続出場65年間続行中
日本、世界で唯一人競技歴68年、選手歴71年

- 7・2019年10月、陸上競技選手権大会(名称)のみ
(出場240回メダル獲得数343個、日本唯一人)

- 8・2019年10月、陸上競技生涯メダル獲得数673
入賞回数828回。生涯メダル獲得1,000個目標

編集発行人

鴻池 清司 (こうのいけ・きよし)

〒649-6315 和歌山市神波72番36

TEL 073-461-4377 / 携帯 090-3279-2399

事務局

〒640-8202 和歌山市屏風丁13、吉田ビル5F クリーナップ内

TEL・FAX 073-402-2991

発行

2021年9月

